

事例検討会

精神科医稲田医師によるスーパーバイズ

令和5年8月23日(木)精神科医稲田医師を招致して、電話相談、面接相談、直接支援などの支援を通しての問題点、今後の対応についてアドバイスを受けた。

講師からは検討会の前に「被害者支援は、教科書の事例のようには上手くいかない。みんなで知恵を出し合い話し合っていきたい」と話があり、各種支援事例に対する問題点等についてアドバイスを受けた。

初めてスーパーバイズを受けた相談員は、「初めてのスーパーバイズで勉強になりました」「医師としての確かなアドバイス、書籍を紹介するタイミングなどたくさん勉強になりました。」と大変喜んでいました。



NNVSコーディネーター研修

令和5年9月14日(木)NNVS認定コーディネーター大野氏を招致して、「支援の実際」について、研修を行いました。刑事裁判での支援の留意点や支援のあり方についてのグループ討議等支援活動に従事する相談員12名が参加しました。

研修を受けた相談員は「支援時の服装や態度について勉強になりました」「マスコミに知られないように裏の草むらから被害者に会いに行った」等苦労話も聞けたと喜んでいました。



犯罪被害者支援パネル展の開催

令和5年度は、中城村、北谷町、名護市、金武町、八重瀬町、豊見城市、宜野湾市、うるま市、浦添市、県庁の10ヶ所で開催しました。



北谷町 (8/14~24)



名護市 (8/21~25)



県庁 (8/22~25)



八重瀬町 (10/16~23)



豊見城市 (11/20~24)



宜野湾市 (11/22~12/1)



うるま市 (12/15~22)



浦添市 (1/15~19)



沖縄県警察学校入校生に対する講話

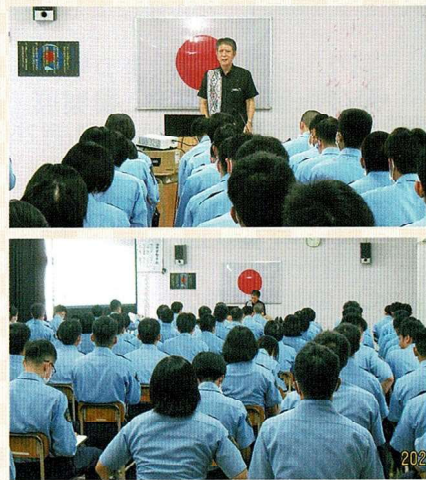
令和5年9月6日(水)、うるま市在の沖縄県警察学校において、警察学校入校中の短期65期30名、長期44期55名の学生85名に対し、「沖縄被害者支援ゆいセンターの概況及び活動内容等について」の講話を行った。教官からは、「犯罪被害者等の支援の必要性について理解を深められた。」と感謝の言葉があった。

.....「受講生の感想文」(一部抜粋).....

受講生からは、

- ・世の中全体が、被害者支援に対して大きな関心を持つ必要があると思った。
- ・周りの人たちにこのような団体や支援の形があることを伝えていきたい。
- ・「事件は解決しても被害は解決していない」の言葉を聞いて、事件解決後の被害者の対応が大切だと意識することができた。
- ・ゆいセンターを知ってもらうことで助けられる人が大勢いると思うので広報を頑張してほしい。
- ・支援に繋がった被害者の声も知りたい、デメリット等プラス以外の目線も聞けたら色々な視点で考えられると感じた。
- ・被害者にどのような言葉をかければ良いのか不安だったが、今回の講話は自分のためになった。
- ・警察官として被害者に何をすべきか知ることができた。
- ・警察だけでなく様々な支援団体と連携し、途切れのない支援をして被害者を孤立させないようにしないといけないと思った。
- ・被害者の方々に寄り添える警察官になり、県民が安心して生活していけるように尽力していきたい。

等の感想があった。



市町村における出前講座 令和5年度は、4市町村で出前講座を実施した。

中城村役場における 出前講座

令和5年8月9日(水) 税務課・子ども課の職員2名が参加(台風6号の残務処理で参加者減少)



参加者からは「相談を受けた際は他の課と連携して支援に繋がりたい。」「支援の場があること、どういった支援をしているか、知ることができて良かった」との意見があった。

豊見城市役所における 出前講座

令和5年9月22日(金) 市民協働課・子育て支援課等15名が参加



参加者からは「被害者支援から様々な問題が派生するので、情報をより多く持つ事と連携が大切だと思った。」「被害者支援はとても大切、支援の必要な人に繋がりたいと思った」等の意見があった。

糸満市役所

(糸満市要保護児童対策地域協議会)
における出前講座

令和5年10月5日(木) 子ども未来課・要保護児童対策地域協議会等25名が参加



参加者からは「実務の参考になった。被害者支援の必要性とゆいセンターの活動を知ることができた。」等の意見があった。

名護市役所

(北部地区戸籍住民基本台帳事務協議会)
における出前講座

令和5年12月6日(水) 県北部12市町村関係職員17名が参加



参加者からは「事例も支援の流れや状況を詳しく説明し、わかりやすかった。DV以外の相談も受けることができると知ったので市民に周知していきたい」等の意見があった。

質の向上研修九州沖縄ブロック研修会(熊本県)

昨年7月、九州各県の相談員を対象とした研修会に参加しました。この研修は、全国各ブロック毎に相談員のスキルアップを図ることを目的として、全国被害者支援ネットワークが主催し、毎年九州各県を持ち回りで開催しているものです。令和5年度は、熊本県で開催され、九州地区の相談員14名が受講しました。研修は座学だけでなくグループ討議やロールプレイなど多岐にわたる内容で、とても有意義な二日間でした。他センターの相談員と同じテーマを共有し、課題解決に向けて作業することはとても意義深いことだと思いました。

電話相談の研修では相談者の表情が見えないこともあり、傾聴や寄り添うことの難しさを痛感しました。また、事例検討の研修では提供された事例内容の問題点を振り返ったり、今後の支援の方向性を整理したりと相談員の知識や技術を学べる貴重な時間でした。今回、ロールプレイで事例提供者役をりましたが、状況報告を正しく行うことにより適切な支援ができること、そしてそのためには検討会出席者全員で意見を出し合い、問題点の確認を細かく行うことの大切さを再認識しました。

今回の研修で学んだことを今後の支援業務に活かせるようにしたいです。

相談員 A. S

